

MORIRIN CSR レポート 2022

Corporate Social Responsibility Report

モリリンググループは、「誠実・和合・創造」の社是を実践するために、
「CSR 行動指針」を定め、役員・従業員への浸透を通して、
「社会から信頼される企業」を目指します。

世界に喜びにつながり、 未来の環境に貢献する

Top Message

モリリンは繊維専門商社として、国内外の生産・物流拠点を整備し、素材の開発および製品の企画・生産から、品質管理・物流全般まで一環してプロデュースする独自のサプライチェーンマネジメント（SCM）を構築しています。企業の意思決定と事業活動には、社会や環境に及ぼす影響に対する、より責任を持った活動が求められるようになったのです。当社も、CSR活動をスタートしました。当社は今後もオリジナリティを打ち出し、新たな付加価値をお客様に迅速に提供するベストパートナーとなるよう努め、お客様をはじめ、社員、関連・協力会社の人々とその地域の未来へ向けた充実した環境づくりに取り組んでまいります。

モリリン株式会社

代表取締役社長 森 俊輔

企業理念

モリリンは生活繊維を通し、「豊かな暮らしの創造」に貢献します。

お客様のビジネスに役立つ新たな価値の創出

繊維業界のグローバル化を見据え、海外では現地法人による内販事業を推進し、近年はアメリカやヨーロッパへも取引を拡大。お客様のビジネスにお役に立つ「新たな価値」を創出します

モリリン流 SCM の確立

お客様が求める商品を、売れるタイミングで売れる場所へ、競争力のある魅力的なプライスで提供する独自のサプライチェーンマネジメント「モリリン流 SCM」を確立し続けます。

多様なニーズに対応するグローバルネットワークの構築

日本国内をはじめ、中国・アセアン諸国を中心した生産・営業・物流拠点を展開。ローコスト、短納期、少量多品種等、多様なニーズに迅速に対応するグローバルネットワークを構築します。

未来への責任と使命

基本方針

モリリンググループの役員・従業員は、常にお客様、お取引先、従業員、株主、地域社会から信頼される企業を目指して、法令遵守及びCSR行動指針に沿って誠実に行動し、持続可能な社会の発展に貢献します。

- 1 お客様の豊かな暮らしの創造のために、いつもお客様の立場に立ち仕事をいたします。
- 2 お取引先と信頼を築くために、取引上の関連法令を理解・遵守し、誠実に行動いたします。
- 3 社員相互の和合を目指し、一人ひとりを尊重し、コミュニケーションを活発に取り続けます。
- 4 会社の信頼を守るため、正確な業務遂行の記録と相互確認、適切な情報開示に努めます。
- 5 地域社会からの信頼を高めるために、倫理的な行動および社会貢献活動を行います。
- 6 環境に配慮した事業活動を行います。

8つの「ために」を常に意識した会社づくり

CSR 行動方針

■ 第1章 お客様のために

1) お客様の立場に立った高い品質を実現

お客様の立場に立つとは「お客様の豊かな暮らしの創造のため」に誠実に仕事をすることです。高い品質を実現するとは「イトからはじまる、すべてのコト」に対し、最高の成果を達成することです。常にお客様のお役に立つことを考え、行動します。

2) 安心できる商品開発・商品提供

法令基準やJISはもちろんのこと、お客様の安心できる基準で素材調達、開発、提供を行います。安心・安全は信頼の土台。私たちは常に素材の開発、選定、調達、製造、流通段階で想定されるリスクの低減化に努めます。

3) 公正な広告・宣伝

公平でかたよりなく、お客様、お取引様に当社の商品等をお伝えします。お客様のありのままを正確にお伝えできるように、誠実でわかりやすい広告・宣伝をいたします。

4) 個人情報の保護

個人情報保護法の趣旨を十分に理解し、情報の重要性に応じた適切な情報管理体制を構築し、個人情報を適正に保護します。

5) お問い合わせ、苦情には誠意で

お客様からお問い合わせ、苦情等には、全社員がモリリンの代表として常に迅速、正確、誠意を持って対応します。

■ 第2章 お取引のために

1) 独占禁止法・不正競争防止法等を遵守

販売価格の拘束、発注者としての優越的地位の濫用の禁止。また、再販売価格の拘束の禁止、優越的地位の濫用を禁止します。

2) 創造的な価値の尊重

人の創作活動によって発生した「知的財産(発明、考察、意匠、著作物、商標等)」を慎重に取り扱います。

- ・WEB サイトからの安易な流用の禁止
- ・商品開発における情報は、他者の権利に抵触していないか注意
- ・業務上のアイデアは自社の創造的価値として権利化

3) 機密情報の保護

会社の機密情報を重要な財産として厳格に管理し、適切に取り扱います。不用意に機密情報を口外したり、流出させたりしません。

また、他社の機密情報を不当に入手して活用することもしません。

4) 公私のけじめをつけた行動

職務の中で金銭物品等の利益を不当に授受することなく、社会一般の常識に則って行動します。取引先に不当に金品を要求することやインサイダー取引は一切禁止します。

■ 第3章 従業員相互のために

1) 一人ひとりの人権を尊重

一人ひとりの人権を大切に、すべての従業員に公正に活躍の場と成長のチャンスを提供します。そして、そういったさまざまな背景への差別的扱いは絶対に行いません。また、職場におけるセクシャルハラスメントやパワーハラスメント、モラルハラスメント行為も同様に許しません。労働基準法など関係法令を遵守すると共に、適切な情報の提供と共有に努めます。

2) 安全で衛生的な職場環境を維持

労働、安全、衛生にかかわるリスク管理を徹底し、快適な職場環境をつくれます。また、心の病を防止するために風通しの良い職場を目指します。

3) 機密情報の保護

「人事制度ガイドブック」に準拠して目標設定し面談制度を通じた部下の情報収集、公正な評価を行います。また、従業員に能力開発の機会を作り、成長できる環境を整えます。

4) 活発なコミュニケーション

コミュニケーションを活発にすることで、信頼関係・協力関係が高まります。また、業務上のリスクを指摘しあうことで健全な職場環境も保持されます。立場・役割を超えて、相手の言葉に耳を傾け、相手への配慮を大切にしながら、言うべきことを適切に伝えます。

インサイダー取引は一切禁止します。

5) 会社の資産を保護

会社の有形・無形の資産を大切に取り扱い、仕事の効率的に進めるために活用します。資産の取扱いがわからないときは、必ず上司や管轄部署に確認して対応します。

■ 第4章 会社の信頼を守るために

1) 適切な取引手続きの遵守

仕入れ、売上の伝票処理など各種事務処理、社内ルールに則って適切に手続きを行います。

- ・複数の人がお互い伝票処理を確認
- ・受発注、在庫管理、入金チェックの徹底。
- ・適切な取引手続きの意義と手順への理解

2) 適切な情報開示

良い情報だけ、都合の悪い情報も速やかに報告します。

3) 創意をつくり経営の効率化と収益性を向上

継続的な利益創出と生産性の向上を図るために創意工夫に努めます。

■ 第5章 地域社会のために

1) 適切な取引手続きの遵守

仕入れ、売上の伝票処理など各種事務処理、社内ルールに則って適切に手続きを行います。

2) 反社会な個人、グループとは関与しません

反社会な勢力に関わる企業、団体の取引及び金銭の要求は断固として拒否します。

■ 第6章 環境に配慮するために

1) 持続可能な資源(材料、労働、エネルギー)調達

資源を限りあるものと捉え、必要最低限の材料を調達した上で効率的に利用し、劣悪な労働環境や児童労働による調達は行いません。

2) リサイクルや廃棄物の削減

環境に配慮したクリーンで安全な資源を優先的に使用し、使用後も再利用や廃棄物の削除により環境保全に努めます。

■ 第7章 製品の安全と品質のために

1) 品質の継続的改善

高技術水準で安定した信頼性の高い製品を継続的に提供するため、QMSの確立・運用・改善に積極的に取り組みます。

QMS・・・Quality Management System(品質マネジメント)

2) サプライチェーンにおけるCSRの推進

当社だけの取り組みではなく、購買先、委託加工、お客様、物流会社との協働し、サプライチェーン全体でCSRの取組を進めます。

■ 第8章 法令遵守のために

1) 国 地域の定める法令を遵守

国内外・国際的な法令、並びにそれらの精神を遵守し、関係部署と連携を取りながら誠意を尽くし事業活動を行います。

2) リスクマネジメントの強化

不測の事態には迅速な対応と的確な情報開示を行い、法令遵守の意識に基づいた行動を徹底すうとともに再発防止体制を構築します

モリリンのCSR活動

CSR 室を発足

世界的な CSR 遵守の流れを受け、日本の繊維産業でも、特に生産工業における CSR 監査の動きが高まりつつあります

CSR 監査とは、生産工場における労働者の人権、労働安全、環境保全などの法律や要求事項をも守っているかどうかを監査するものです。

そこで、当社では2018年に「CSR 行動指針」を作成。さらに「CSR 室」を新たに組織化して、次の2点に推進してきました。

①取引先を選択するための指標作成と生産工場の現状調査

長年かけて築いた“信用”を守り続け、高い倫理観を保持していくために、CSR の観点から工場のチェックシートを作成し主要工場に配布、実態調査を行い、272社の協力を得ました

「CSR室」組織図



②取引基本契約書の書面

社会的責任を果たすためには、当社と取引先との役割、責任を明確にし、共有認識する必要があります。そのために、改訂した取引基本契約書を 144社に送り、契約を交わしました。他取引先にもこれから順次進めていきます。

また、SCM 統括部が営業部の協力を得て、取引先の工場監査実施に対し、事前に環境整備を調査するとともに、工場認定に向けた管理、指導を行っています。



アセアン地区の工場を現状調査



取引基本契約書

CSR 室を発足

SDGs(2030年までの持続可能な国際開発目標)の考えを踏まえ、サステナビリティ(持続可能性)を会社の取り組みとして「モリリンエコプロジェクト」(M・E・P)を始動。テーマ(哲学)をモリリン・サ ティナブル・フィロソフィ「地球環境と資源を守り、健康に暮らせる持続可能な社会の実現に貢献する」〜イトからはじまる、すべてのコトへ〜としました。



SDGs (2030 年までの持続可能な国際開発目標)

モリリンが目指すサステナビリティ

モリリンエコプロジェクト 地球環境と資源を守り、健康に暮らせる持続可能な社会の実現に貢献する。

Ideal



接続可能な開発のためのアクションを取るべき企業だと自覚し、協力企業と共に実践する、ということ

➔ ジャパンサステナブルファッションアライアンスに加盟



異なる文化、あらゆる世代の人権を尊重し、コンプライアンスの重要性を共通認識とする企業との取組み、適切な労働環境下で適切な生活の確保に努める

➔ 健康経営優良法人 2022年～大規模法人部門～
地域貢献（愛知県一宮市 SDGs パートナー）

（ファッションイベント協賛金(Tweed Run)）



繊維商社として素材～製品まで責任を持ち、サステナビリティの実現に取り組む、ということ

➔ サステナブルな展示会
PANECO®（循環型繊維リサイクルボード）

Action



発展途上地域における経済活動の一環として、安定した生産活動を推進する

➔ M.E.T（モリリンエコテキスタイル）



教育、科学、文化、コミュニケーションの分野から平和のとりでを築くという理念を持つ日本ユネスコ協会連盟維持会員となり、世界寺子屋運動の活動を支援する

➔ 世界寺子屋運動の活動



異なる文化、あらゆる世代の人権を尊重し、コンプライアンスの重要性を共通認識とする企業との取組み

➔ 社内外セミナー（ステークホルダーへの教育・情報提供）



海洋資源・陸上資源を守るために、循環型・環境保全型の素材の使用・開発を促進する

➔ モリリンエコプロジェクト
FSC®認証林(岐阜県郡上山林)



テクノロジーを活用した新たなスキームの構築

➔ BODY PRO®（再生衣料=不要となった製品、生地を回収、糸を蘇らせる「Remade-J」システム）



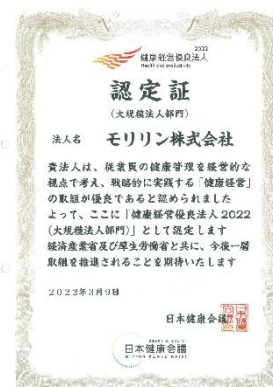
パートナーシップ企業と共に地球環境に配慮した素材を使用し、適切な生産・加工方法を遵守する

➡ AQUARAIZ (SDGs な未来志向のデニム)

健康経営優良法人2022(大規模法人部門)に認定

2018年より当社で環境整備を進めてきた健康経営が、経済産業省と日本健康会議が共同で実施する「健康経営優良法人2022(大規模法人部門)」に3年連続で認定されました。健康経営優良法人制度とは、健康経営に精力的に取り組む企業を業績の向上が期待させる法人として紹介し、会社のブランドイメージ向上と、人材採用力UPの環境づくりを推進するものです。

「社員の健康が会社の成長へ！」を合言葉に、会社と社員が信頼し合い、明るく楽しく働けるオフィス環境を作り出すことを目的に、「N0 残用デー(18時退社)」も率先して実行。合理的な労働環境を通じて日頃から社員の働く条件の向上に努めています。



健康経営の活動内容

健康経営とは、健康管理を経営的視点から考え、業務の生産性を高め、戦略的に企業価値を高めること、および、社会責任を向上しようとする考え方です。当社の健康経営の方針は「社員一人ひとりがお客様の笑顔に貢献するとともに、貢献する喜びを持って生き生きと仕事ができる企業」とし、具体的な活動内容は、健康診断の100%受診の推進、健康増進および、推奨策(全社館内禁煙、自転車通勤)、長時間勤務に対する対策(退勤時間最終20時ルール等)、ストレッチ体操の実施、社内サークルへの費用補助、コミュニケーションの場の設置および朝食の提供、人間ドック費用の一部会社負担等、社内に対する健康経営のアピールを行っています。



ストレッチ体操を実施



サーフィン部



サッカー部



テニスサークル

地域貢献

英国発のツイードランの協賛

イギリスで生まれたファッションと自動車のイベント「Tweed Run」の協賛を行っています。「The Tweed Run」は、2009年にロンドンでスタートし、ツイード素材のファッションに身を包み、自動車で街を楽しく走るイベントです。現在は、ニューヨークやフィレンツェ、カナダ等世界各国でも独自に開催されています。2012年東京が初開催でその翌年、2013年に東京及び愛知県で開催され今に至ります。





モリリンの郡上の山林

約100年前、スギやヒノキを自社で植え育てる植林事業を通して環境保全活動を始めました。岐阜県郡上市に所有の山林面積はFSC®認証*を受けた217ha。水源養成のほか、茸、木の実、山菜など林産物の持続的生育、二酸化炭素吸収による環境保全などの役割を果たしています。自社保有の山林は年間1,358tの二酸化炭素を吸収すると試算。現在は、郡上森林組合に管理業務を委託し、共同で森林保全活動を行っています。」



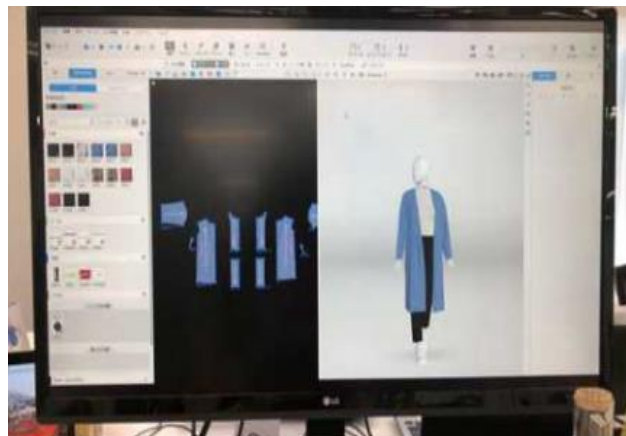
FSC®について

FSC®(Forest Stewardship Council®)は責任ある森林管理を世界に普及させることを目的とする、独立した非営利団体であり、国際的な森林認証制度を運営しています。



3D CAD「ブラウザウェア」導入。産学連携プロジェクトを進行中

当社は2019年3D CAD「ブラウザウェア」導入。顧客との商談で企画設計プロセスのリードタイム短縮やサンプル作成コスト削減を狙ったもので、有カアパレルや通販企業との商談で活用されています。また、2021年より学校法人織田学園、織田ファッション専門学校（東京都中野区）との産学連携プロジェクトをスタート。3D CADの基礎知識を習得、実践し、新たな3D CADの価値創造を目指します。自ら考え、創り、販売するスキルを会得するために、当社が年2回実施するモリリンDXエキシビションに向け、モリリンアワードを開催。優秀作品には企業提案と商品化の機会を付与します。(素材・生産フォローは当社が実施)。そして、この共創プロジェクトからファッションビジネスで即戦力となる人材の育成を目指します。



3D CAD「ブラウザウェア」

Stylezone (情報共有クラウド)

作成3Dデータが確認でき、通常商談のみならず、リモートでも画面を共有しながらの提案が可能です。事前にお取引先様と素材共有をしておくことで、より営業活動の確度が高まると考えます。



3D CAD使用作成データの提案事例イメージ

ウイズコロナの時代に合わせた展示会を開催

コロナウィルスの感染拡大が続き、ウイズコロナが一般化した状況下、新たな挑戦を続けるべくサステイナブルな観点を取り入れた素材や機能素材を中心に様々なファッション・アパレルを提案。前回に引き続きリアル展とWEB展を同時開催することでお客様のニーズに対応。3D CADによる提案では、営業部ごとの実績やノウハウを共有させ、より説得力を高めました。今後も、本当に必要なモノを提案していくための展示会を目指し、不可欠かつ本質的な未来志向の提示を続けていきます



サステイナブル機能素材群



「M3 LABO」のパネル説明



睡眠改善&PANECO



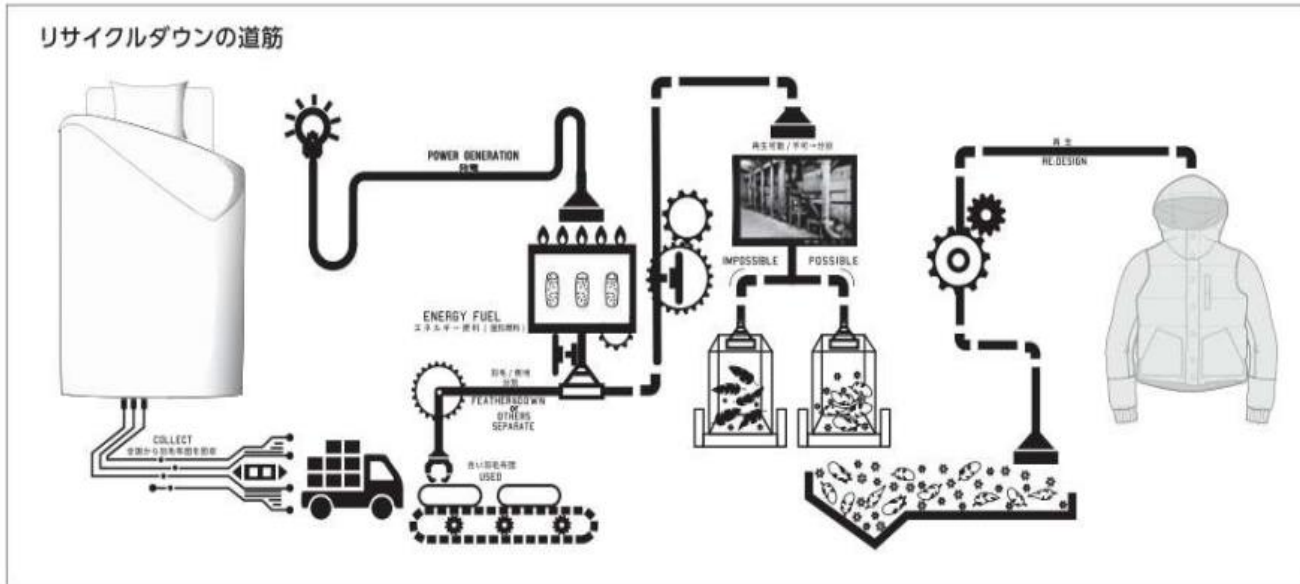
カーボンニュートラルを目指す製品群



COOLMAX

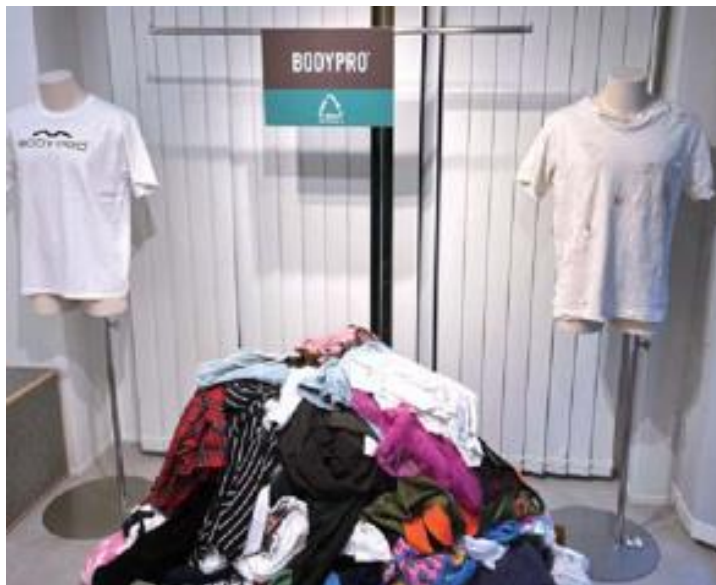
リサイクルダウン

当社で生産・販売をした羽毛布団の下取り・回収を実施して、それを選別・洗浄してからリユース可能な羽毛をダウンジャケットなどへ再生します。側生地などは用途をかえるリサイクルシステムを構築。回収、分別、再生までを一括で管理しています。



リサイクルTシャツ 「Re:made-J®」

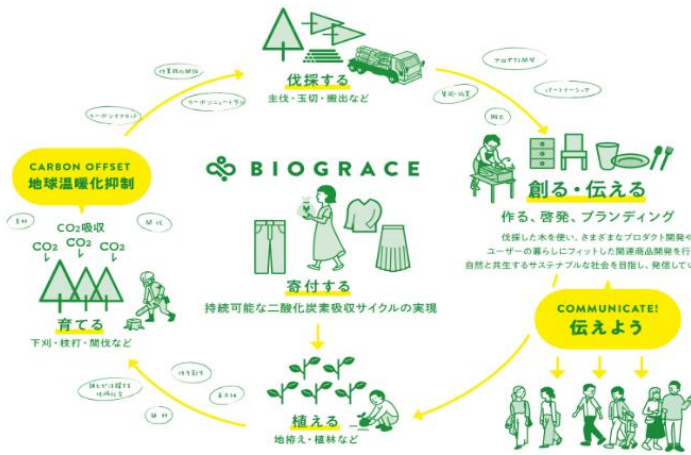
9月27日(火)から4日間、FIL 南青山ショールームにて、VANTANデザイン研究所の学生と産学連携した展示会を開催。ファッション業界が進めるSDGsの取組み理解してもらうため、学生自身が回収した廃棄衣料品から糸を再生し反毛Tシャツを製造。学生の描き起こしたSDGs関連メッセージを含んだグラフィックデザインを当社のインクジェットプリンターでTシャツにプリントし展示しました。今後は「Re:made-J®」×「BODY PRO®」による、デッドストック在庫を活用した総合的なリサイクルスキームをお客様に提案し、認知拡大を図ってきます。



廃棄衣料から糸を作り直すアップサイクルスキーム

サステナブルマテリアルブランド「BIOGRACE®」

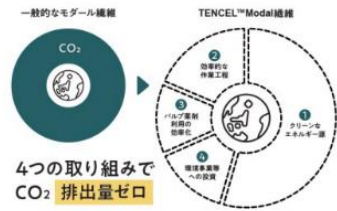
生産工程で二酸化炭素排出を抑えた、ゼロカーボン／テンセル™モダール繊維(環境配慮型素材)の原料を使用し、2050年までのカーボンニュートラルを目指します。当社のサステナブル活動としてCO2削減を目的とし「木と暮らす未来プロジェクト」へ1kgにつき10円の寄付を通じて、植林・育林活動を行っております。



カーボンニュートラルに貢献する BIOGRACE という素材

ゼロカーボン テンセル™モダール

Carbon-zero TENCEL™Modal繊維は一般的なモダール繊維に比べてCO2排出量を約80%削減し、環境事業への投資などによりオフセット。全体としてゼロカーボンを実現したサステナブルな素材です。



木と暮らす未来プロジェクト

BIOGRACEは木と暮らす未来プロジェクトへの寄付を通じて植林・育林活動を行っています。



岡山県苫田郡鏡野町での植林

サステナブルトータルソリューションブランド「PRODI」

「少しでも地球のためにできることを」と立ち上げたブランド『PRODI』

350年以上の歴史を持つ当社が、プロフェッショナルで革新的な技術を用い、人、社会、環境にやさしいサステナブルな世界を目指すトータルソリューションブランド。キャンプなどへ持ち運びができる炭酸水メーカー「PRODIソーダガン」をはじめ、サステナブルなライフスタイル雑貨を提案してきた同ブランドから、新たにアウトドア雑貨の展開をスタートいたしました。リサイクル素材の使用や使用電力の削減など、環境に配慮した商品です。





リサイクルボード「PANECO® パネコ」

当社は、株式会社ワークスタジオが手掛けるサステナブルボード PANECO®の日本国内における販売総代理店として、商品を一括管理・販売しています。PANECO®は廃棄される衣料を素材にした完全循環リサイクルボードで、ボード販売と同時に衣料廃棄物の回収等、繊維サーキュラー（循環型）プロジェクトを推進しており、イベントやオフィスで用いる内装品やディスプレイ什器、家具へと生まれ変わらせクリエイティブな世界観の創出を続けています。2022年12月1日（木）～9日（金）の期間、東京本社で展示会を開催しました。



PANECO®で作られたクリスマスツリー



様々な家具から壁アートまで



SDGs なデニム「AQUARAIZ アクアライズ」



オーストラリアのレンチング社、クラボウ他国内企業と当社がチームアップして開発した素材が未来志向のデニム「AQUARAIZ」です。レンチング社のテンセル™モデル繊維はオーストリア及び近隣の再生可能な森林から調達したブナ類が原料材木。この原料を用いると従来のデニム繊維に必要な染色工程（ローブ染色）が要らず、環境負荷を大幅に削減します。また、AQUARAIZ デニムは一般的なデニムより高堅牢度を実現、色移りや色落ちし難く、洗濯物をデニム分けする必要もありません。AQUARAIZ は無限の可能性に挑戦するブランドとして進化を続けていきます。



Vファーレン長崎とのスポンサー契約

Vファーレン長崎の考える、平和への思い、スポーツを愛する気持ち、クラブ理念に賛同して、2018年よりスポンサーとしてチームを支援しています。また、『モリリンDAY』と銘打つ試合を実施。来場者には、先着3,000名にオリジナル接触冷感マスクをプレゼント。ハーフタイムには当社の寝具が当たる抽選会など、スタジアム内外で様々なイベントを行っています。協賛を通じて、スポーツ文化の振興、地域活性化に寄与して参ります。



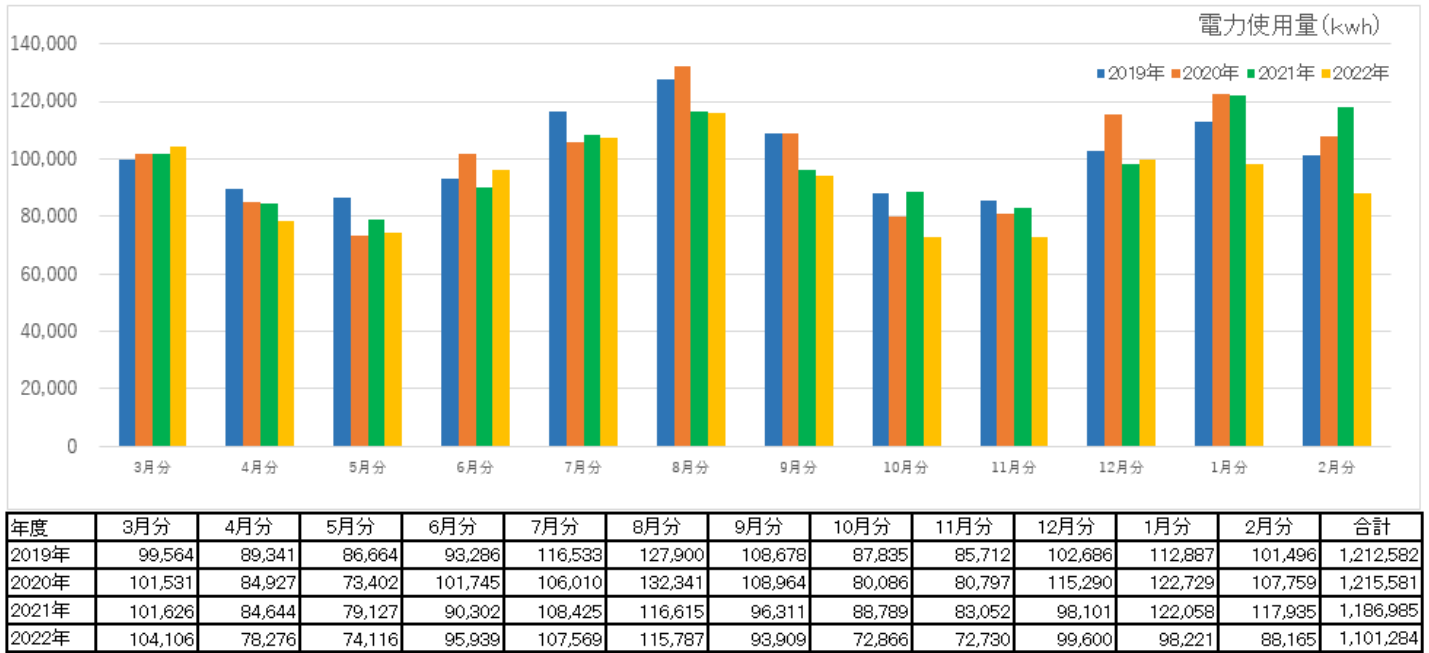
「モリリン DAY」5月14日 VS 大宮アルディージャ（トランスコスモスタジアム長崎にて）

事業活動と環境負荷の全容

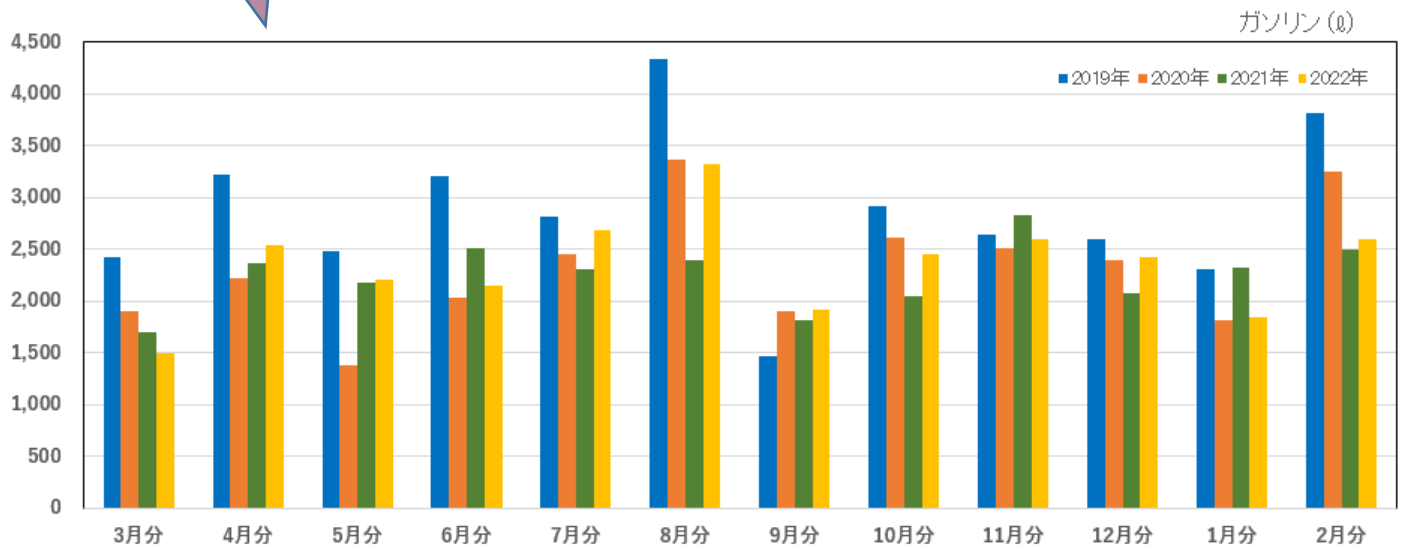
2022 年度実績

モリリンでは、商品・調達・生産・物流・販売・オフィス、社会貢献の各領域でさまざまな環境保全活動に取り組んでいます。環境負荷の低減に取り組むために、環境データの把握に努めています。

環境負荷の実績について（電力）



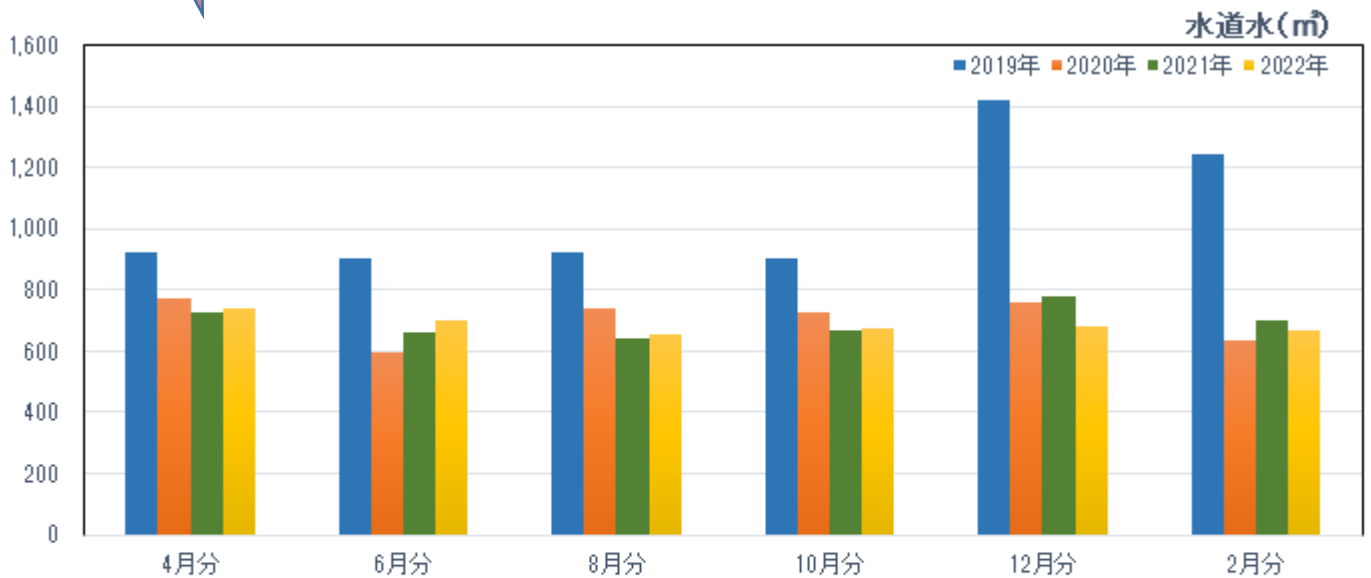
環境負荷の実績について (ガソリン)



社用車ガソリン(ハイオク含む) 使用量 (ℓ)

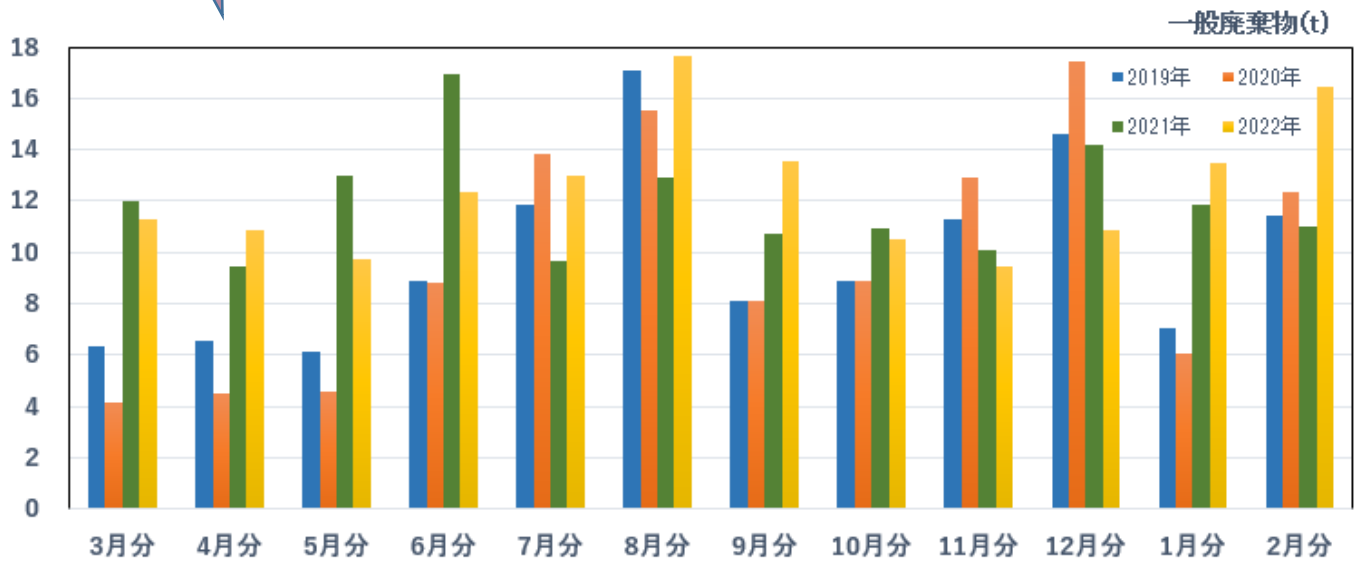
年度	3月分	4月分	5月分	6月分	7月分	8月分	9月分	10月分	11月分	12月分	1月分	2月分	総計
2019年	2,418	3,216	2,483	3,211	2,818	4,329	1,466	2,919	2,633	2,590	2,303	3,815	34,202
2020年	1,900	2,223	1,381	2,036	2,445	3,366	1,902	2,614	2,511	2,394	1,820	3,255	27,847
2021年	1,694	2,366	2,183	2,512	2,305	2,395	1,807	2,053	2,834	2,079	2,324	2,488	27,040
2022年	1,493	2,545	2,200	2,149	2,690	3,324	1,920	2,459	2,594	2,421	1,850	2,592	28,237

環境負荷の実績について (水道水)



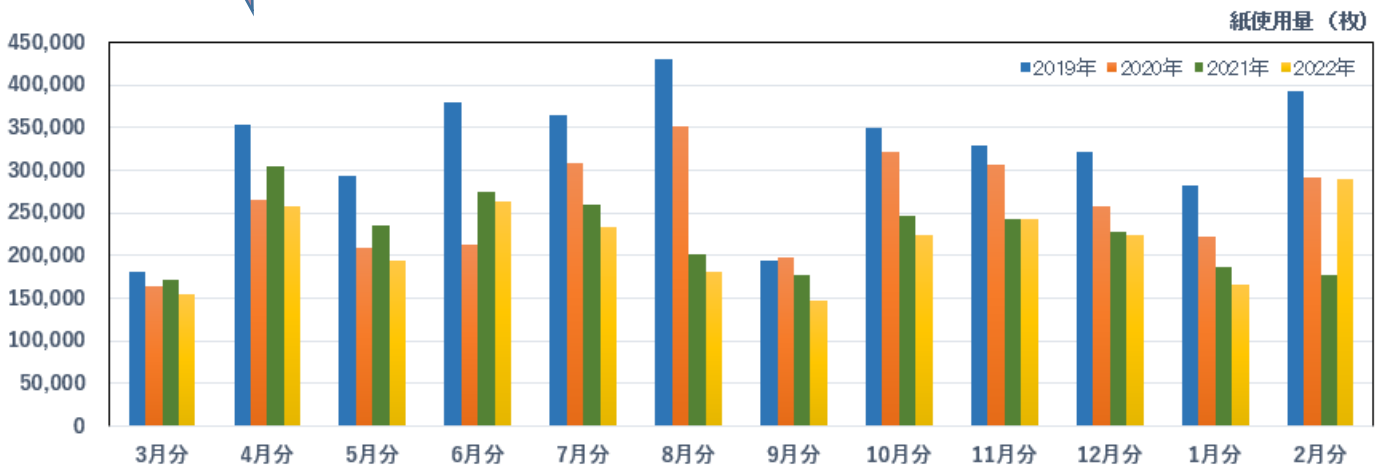
年度	4月分	6月分	8月分	10月分	12月分	2月分	合計
2019年	921	907	923	901	1,420	1,245	6,316
2020年	771	594	738	730	762	633	4,228
2021年	727	663	641	671	781	702	4,185
2022年	743	700	654	675	682	668	4,122

環境負荷の実績について（一般廃棄物）



年度	3月分	4月分	5月分	6月分	7月分	8月分	9月分	10月分	11月分	12月分	1月分	2月分	総計
2019年	6	7	6	9	12	17	8	9	11	15	7	11	118
2020年	4	5	5	9	14	15	8	9	13	17	6	12	117
2021年	12	9	13	17	10	13	11	11	10	14	12	11	143
2022年	11	11	10	12	13	18	14	10	9	11	13	16	149

環境負荷の実績について（紙）



年度	3月分	4月分	5月分	6月分	7月分	8月分	9月分	10月分	11月分	12月分	1月分	2月分	合計
2019年	181,310	353,476	294,381	379,951	364,325	429,776	193,555	349,813	329,636	322,478	282,523	393,411	3,874,635
2020年	163,987	265,157	208,342	212,811	307,615	351,664	198,141	322,193	305,887	257,731	222,766	291,157	3,365,031
2021年	172,001	305,053	234,927	275,077	259,260	200,705	177,123	247,186	242,574	228,751	186,905	177,572	2,707,134
2022年	155,065	258,474	194,679	262,669	232,603	181,108	147,245	224,381	242,939	224,678	166,009	289,679	2,579,529

持続可能な未来に、必要な会社であるために



モリリン株式会社 CSR 室

〒491-8610 愛知県一宮市本町4丁目22番10号

TEL (0586) 25-2281 (大代表)

<https://www.moririn.co.jp>